

News Release

2020年4月1日
三菱アルミニウム株式会社
取締役社長 木村良彦

2020年度 入社式挨拶（要旨）

皆さん、ようこそ三菱アルミニウムへ。本日入社された皆様を三菱アルミニウム社の社員を代表して心より歓迎いたします。社会人として初日、晴れやかな気持ちと存じます。私達も新しい風を感じます。

この機会にお話ししたいことは、まず品質への取り組みです。当社は過去に品質問題を起こし、お客様にご迷惑をおかけしました。現在も再発防止、信頼回復のために全力を尽くしております。さらに、回復するだけでなく、今まで以上にお客様に感動を与えるような高い品質を目指して参ります。人的なミスを防ぐための自動システムの構築など時間のかかる作業もありますが、粘り強く取り組みましょう。

次に、アルミ業界の状況と対応についてです。アルミは紀元前から既に道具や装飾品として使われていた鉄や銅と比べると非常に歴史が浅く、工業製品として基礎が確立してから約130年位です。その間に、全世界での新地金の生産量は約6000万トンに達しています。軽量、高強度で環境負荷も少ない等、数々の優れた特性があり、まだまだ用途が広がっていくと期待されます。実際には、中国のアルミ生産の供給過多、コロナウィルス等の影響もあり、短期的にはアルミ事業は苦しい運営を余儀なくされていますが、電気自動車に使われる二次電池の部材等、これからの成長が見込める分野が多くあり、長い目で戦略を構築する必要があります。現在当社は厳しい事業環境にありますが、今まで以上に強固な会社とするため、全社を挙げて取り組んでいます。

皆さんに期待していることは、厳しい業界の中で勝ち抜くため、一人一人が輝いて欲しいということです。会社には、営業、製造、開発、生産技術、経理、総務、人事等多くの職場があります。もちろんすぐに求めるわけではありませんが数年後には、幅広い知識を持つとともに自分の分野ではだれにも負けないというスキルを持って会社を引っ張って欲しいのです。

次に、人とのつながりを大事にして欲しいということです。今日入社される25名の方の同士のつながりは、おそらく一生あると思います。私自身、新入社員時代と同じ工場に配属された方々と36年経っても付き合いがあります。お互い気楽に相談できる同期を大事にして欲しいと思います。会社内の付き合いと同様に、学生時代の友人や先生等、社外の付き合いも大事にして下さい。多様化が叫ばれる中、様々な人と接することが視野を広げてくれます。

最後に、遠慮せずに自分の意見を出して、職場に刺激を与えて欲しいということです。特に、これは危ないのではないか、品質に問題はないか、無駄な作業をしていないか等の気づきがあれば、それを周りに伝えて欲しいと思います。問題点を指摘してネガティブにとられるようでしたら、会社に問題があります。遠慮なく発言していただきたい。

アメリカのアラバマ州のモンゴメリーには、サーマレックスという当社の子会社があります。その町には有名な教会があります。1954年からキング牧師（マーティン・ルーサー・キング・ジュニア）が勤められていた小さな教会です。当時まだ人種差別が残っており、ここから公民権運動が起きました。数々の苦難を経て、1963年には、20万人を超える大規模なワシントン大行進が行われ、この集会において、キング牧師は **I have a dream.** という有名な演説を行いました。1964年になって公民権法が制定されています。最初は **Dream** であったかもしれませんが、信念をもって貫き、共感者を得て、大変革を成し遂げたわけです。この小さな教会で改めて夢を持つことの大事さを学びました。皆さんも今後長い社会人生を送るに当たり、楽しいことばかりではありませんが、今日の日の想い、夢を大事にして有意義な会社生活をお送りください。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

三菱アルミニウム株式会社 総務部（TEL:03-3769-0111）